

# 歴史学習において「知りたい」「学びたい」と意欲的に学ぶ児童の育成 —ICTを活用した「学習内容の整理」と「次の時代の予想」を通して—

特別研修員 社会 塚越 佑（小学校教諭）

## 【児童の実態】

- ・予想することが苦手である。
- ・自分の意見や考えを表出することに消極的である。
- ・物事を部分的に捉えてしまい、全体的に見たり歴史を大観したりすることが難しい。

## 【教師の願い】

- ・これまで学習したことを生かしながら、意欲的に学習に取り組んでほしい。
- ・学習したことをつなげ、各時代を大観して捉えられるようになってほしい。

## 授業実践 6年社会科 「戦国の世から天下統一へ」

### 手立て1 Google Jamboardを利用した学習内容の多面的整理

①学習内容を付箋に入力する。



授業後のシート（第2時）

各時間の学習  
内容を追加



授業後のシート（第4時）

### Google Jamboardの付箋

水色=視点  
黄色=学習内容  
橙色=時代  
桃色=予想

②学習内容を視点ごとに整理する。

### 各視点を基に捉えたこの時代の特徴



〇〇はこの視点？  
どうしてその視点？

全体共有



学習内容を四つの視点で整理した様子

室町、安土桃山時代のまとめ  
この時代は、信長、秀吉が中心だった(リーダー)。障子やふすまなどがある現在につながる建物が造られ(生活)(文化)、スペインやポルトガルと貿易をして(つながり)、キリスト教や鉄砲が伝わった(文化)。

### 手立て2 学習内容や資料を根拠として次の時代を予想させる活動

・手立て1のシートや次の時代の資料を根拠として、予想する。 **児童から出た予想**

私の予想は…  
根拠は…。

〇〇の視点で  
□□と予想したよ。根拠は…



○リーダーの視点で、徳川家康が中心になると思う。なぜなら、家康は織田信長や豊臣秀吉と協力していたから。  
○文化の視点で、能楽や狂言みたいな芸能の種類が増えると思った。なぜなら能や能楽、狂言など新しい芸能ができたから。

・今後の学習で確かめたいことや調べたいことを記述する。

次の時代が予想したとおりになるか確かめたい！もっと知りたい！

○家康はどのような政治をしたのだろうか？  
○どの国のどんな文化が入ってくるのか？

○農民と武士は本当に仲よくしていたのかな？  
○芸能の種類は増えたのかな？（児童ノートより）

### 次の単元への興味・関心の継続



目指す  
児童像

## 歴史学習において「知りたい」「学びたい」と意欲的に学ぶ児童

### 成果○ 課題△

○四つの視点を継続して用いて学習内容を整理することで、時代を捉えるための重要な歴史的事象に気付くことができ、学習した時代を大観する上で効果的だった。

○次の時代を予想させたことで、次単元への学習意欲を高められたと同時に、「予想したことと合っていた」「予想と外れていたけど楽しく学べた」など、同単元に意欲的に取り組む姿が見られた。

△「単元のまとめ」で「次の時代を予想する」活動を取り入れたが、「単元のつかむ」活動としても位置付けることができる。単元と単元のつながりを意識した単元構想を考える必要がある。